

公衆衛生事業功労者表彰を受賞して

埼玉医科大学総合医療センター
宮野 良介



埼玉県診療放射線技師会会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、埼玉県診療放射線技師会のご推薦により、平成24年11月16日、さいたま商工会議所会館で開催されました「第56回埼玉県公衆衛生大会」に於きまして、公衆衛生事業功労賞を受賞することができました。大変光栄に思います。これもひとえに、ご推薦していただきました埼玉県診療放射線技師会役員の方々のお陰と感謝しております。

私が埼玉県放射線技師会の仕事に携わったのは平成3年からであり、埼玉県放射線技師会第三地区役員を4年、平成7年から埼玉県放射線技師会総務委員会理事を2年、平成9年より総務委員会常任理事を4年務めさせていただきました。当時は意気盛んな30代でしたので、何も分かっていないのにもかかわらず、諸先輩方を前に生意気なことを言って不機嫌な思いをさせ、ご迷惑ばかり掛けていたように思います。それでもどうにか根気よく役員として理事としてご指導して下さった、当時の会長をはじめ、役員の方々のお陰で、診療放射線技師として30年以上も仕事をすることができました。また会務に対し、ご理解ご協力をいただいた職場の皆様に対しても、お礼と感謝の気持ちでいっぱいです。現在、体調不良の関係もあり埼玉県診療放射線技師会開催行事などから離れてしまっていますが、今後はどのような形にせよご協力ができればと思っています。

今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。最後に埼玉県診療放射線技師会の益々のご発展と、会長をはじめとする役員、会員の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

埼玉県公衆衛生事業功労賞を受賞して

深谷赤十字病院
清水 文孝



平成 24 年 11 月 16 日、第 56 回埼玉県公衆衛生大会において、埼玉県公衆衛生功労賞を受賞いたしました。これは公益社団法人埼玉県診療放射線技師会小川会長はじめ、関係各位のご尽力していただいた賜物と、心より感謝申し上げます。

またこの受賞は私個人の受賞というより、深谷赤十字病院放射線科スタッフ一同での受賞したものと思うと共に、第四地区の多くの方々のご指導をいただいた証であると思っております。

私自身、昭和 52 年に深谷赤十字病院に入職し、36 年が経過いたしました。その間の我々の職種は変革の時代であり、その凄まじい日進月歩の中に身を委ねており、日々の勉強が欠かせない時代を過ごしていると思っております。また平成 9 年より技師会役員として、総務、学術、編集と在任 10 年間様々な経験をさせていただきました。その当時は、第四地区の役員も兼ねさせていただいており、様々な方々との交流が今の自己形成の一端であったと思っております。昔も今も技師会、そして交流をいただいている方々が私自身の宝であると自負しております。

技師会の役員を退任した当時は、趣味のゴルフ三昧を夢見ておりましたが、縁があり職域の団体である日本赤十字放射線技師会の役員として声が掛かり、常任理事、副会長を歴任し、現在では会長として活躍させていただいております。会の運営の手法などは、県技師会役員で培った手法を取り入れさせていただき、日赤技師会の運営をさせていただいております。

医療の高度化は勿論のこと、チーム医療、医療安全と診療放射線技師の役割は多岐にわたり、学ぶべきものは増加の一途です。しかしながら、残り少ない現役においては、若い人たちの背中を押すことを宿命と捉え、邁進して行きたいと思っております。でも、まだまだ現役としての自負もあり、自己研鑽を^{けんさん}図り、診療放射線技師としてその責任をまっとうし、患者様の期待に添えるよう努力して行こうと、この受賞を機会に新たなモチベーションを構築しております。

最後になりますが、これからも微力ではありますが技師会、社会に貢献できるよう精進して参りたいと思っておりますので、今後とも皆様よりご指導いただけますようお願い申し上げます。またこの紙面をお借りし、長年にわたりご指導を賜りました皆様にご心より御礼申し上げます。

日本公衆衛生協会会長表彰を受賞して

石栗 一男



このたび、埼玉県放射線技師会員の皆様からご推挙いただき、日本公衆衛生協会会長表彰を受けましたことは大変光栄に存じます。

私は、平成6年4月に日本放射線技師会乳腺検査指針委員として放射線技師会の代表として役員に就任させていただきましてから、平成18年埼玉県放射線技師会渉外マネージャーを指名されるまで、主に学術、編集関係の仕事に関わってまいりました。その間、多くの埼玉県放射線技師会の諸先輩方からご指導いただき、楽しく充実した技師会生活を送らせていただきました。私の人生で最も充実した期間と懐かしく、そしてありがたく思い出されます。多くの皆様方のご尽力により、埼玉県放射線技師会員としての私の今日があることをあらためて知り、埼玉県放射線技師会の歴史を創られてこられた諸先輩方と現役員の方々のお名前やお姿に思いをはせております。

このような受賞の機会をいただきましたことは、諸先輩方そして会員の皆様方の深いご厚情の賜物です。私はこのたびの受賞を受けましたことを胸に刻み、これからも埼玉県診療放射線技師会会員の一人として、会の発展に尽くしてまいりたいと存じます。今後とも、皆様方の尚一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

平成25年6月5日

第一回 Freed セミナー報告

上尾中央総合病院
佐々木 健

医療界の変化は著しく、10年前と現在では大きく違うことを日々実感させられる。上司や部下と気兼ねなく会話をしている「昔は・・・だった」と言ったり言われたり。10年違う年代が共通の理解、認識で物事を見ることが出来るかは疑問が残り、20年違ければ、ほぼ不可能であると考えられ、そこには架け橋が必要である。そこで上司と部下との架け橋になるためにはどうすれば良いか、自分の立ち位置を考える機会になればと、平成25年3月23日に、組織の中間層を対象としたFreedセミナーを開催した。カフェで行なうようなオープンで自由な会話をしてもらうため、ワールドカフェ方式を取り入れ、『10年後を見据えて今やるべきこと』をテーマにセミナーを進めた。



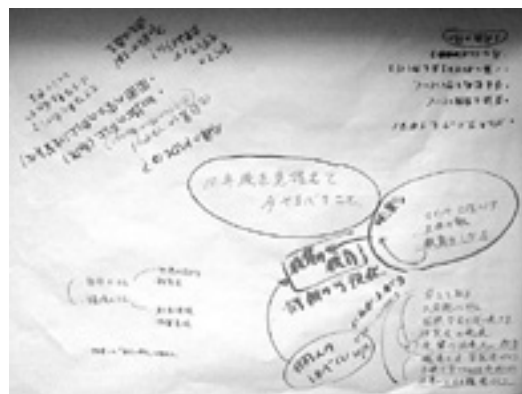
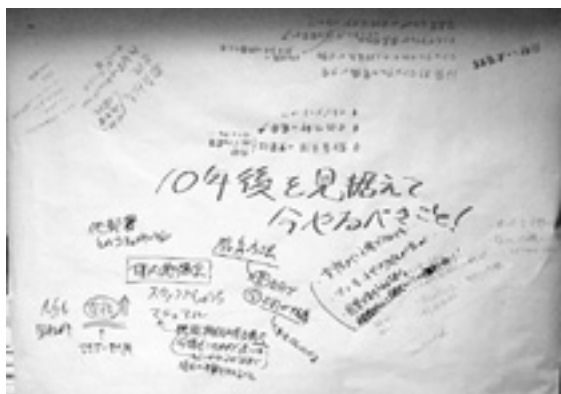
建設的で論理的な話し合いではなく、不満を語り合い共感を得ることが多くの時間を占めたが、心の膿を出すことの素晴らしさを実感していただけたと思う。

その後『人財育成』と題し、医療費問題、マネジメント、リーダーシップ、アサーティブコミュニケーション、トレーニングプログラム、チーム医療、法令改正、風土改革、教育など次世代を担う我々が知っておくべきスキルについて話をした。「この先10年後の医療を創るのは自分達なんだ」「待ったなしの時間の中で、具体的に何をすべきなのか」を少しでも感じていただければ幸いである。

アンケート結果も非常に好評なため、今年度も平成26年3月22日土曜日に開催を予定している。ぜひ多くの方に参加していただき、施設を超えて自分たちの創る将来について意見を交わしていただければ、さらに続く次世代への良風になると信じている。

Q8 その他・要望企画・ご意見がありましたらお願いします。✦

- 初めてのワールドカフェの参加で少し戸惑いましたが、他施設、他人の自由な意見、本音の意見が聞けてとても良かったです。✦
- 自分がどのような先輩技師になれば良いのが明確になりました。ありがとうございました。✦
- 今後も参加したいと思います。✦
- 他病院の方と色々な意見を聞く事ができ大変勉強になった講習会でした。このような講習会は初めてで、最初は戸惑うことも多かったですが、貴重な体験となりました。今後もこのような講習会が開催される事を期待しています。✦
- 他病院の情報を得る事が出来よかったです。✦
- 刺激になりました。来てよかったです。✦
- 中堅技師の会、今後もやってください。ぜひ参加させていただきます。✦
- とても面白かったです。今後もぜひ参加させていただきたいです。ありがとうございました。✦
- マネジメントに関する話は初めて聞きました。今まで思いもなかった話題が飛び交っていて非常に有意義な時間でした。✦
- 色々な意見があり、とてもよいセミナーです。今後このセミナーの継続が必要に思います。✦
- たくさんの方が個人のスキルアップ、教育などに興味を持っていることがわかった。他施設とのコミュニケーションの場が必要に感じた。✦



印象記

第一回 Freed セミナーに参加して

上尾中央総合病院放射線技術科
館林 正樹

去る平成 25 年 3 月 23 日、上尾中央総合病院において、技師歴 10 年程度を対象としたワールドカフェディスカッション式のセミナーが開催された。

まず初めに宣言しておきたい。Freed セミナーはモチベーション向上という括りにおいて非常に有意義なものだった。遅れながら簡単に自己紹介をするが、私は技師歴 6 年ちょっとの所謂一般職中堅層であり、仕事や組織、教育などの「大きなもの」に対し、自らにビジョンの端っこがようやく見え始めてきたごく普遍的な技師である。…と自分では思っている。

私が Freed に参加した理由は単純である。「自分と同年代で同様な考え方を持っている人がいるのか知りたい」という欲求だけだ。日々の業務の中、私は沢山の事を考える。感嘆や感心、不満や落胆、果ては疑心暗鬼に猜疑心。「自分だけ」を取り巻く業務環境の内だけでも正直キリがない。もっとこうした方がいいんじゃないだろうか、自分の指導の仕方は果たして正解なのだろうか、なぜ上司はそうするのだろうか…etc。幾ら考えても結局は諦め型の自己完結で終わってしまう。駄目だと分かっているが。

私の性格の問題もあるだろう。だが、当然個人には個人の考え方があるわけで、千差万別なんて言葉もあるように、考え方の一部を共有できても、そもそも全部に共有を求めてはいけないのだ。しかし、それではそのジレンマは何処に向ければいい？同僚や後輩に思いをぶつけようにも、恥ずかしながら押しつけるような議論しかできない自分にとっては、中々門戸が狭く感じてしまう。何も考えていないように振る舞って二つ返事で日々の仕事を効率的にこなすほうが楽に感じる。正直病むが。

そんな私にとって、Freed は「待ってました！」的な会だった。そして「期待を上回り過ぎる」会だった。内容は文字数の関係で省く。ただしこれだけは偉そうに言う。

「来ても損しない」じゃない。「来ないと確実に損をする」

世間は狭いが世界は広い。本当にその通りなのだ。

そして「セミナー後の飲み会は必須要項」ですので悪しからず。

リレー・フォー・ライフ川越 2013 ボランティア募集のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 小川 清

本年度もリレー・フォー・ライフ川越に参加することが決定いたしました。本会として、たくさんの方が参加され支援の輪が広がることを願いボランティアの募集をいたします。わずかな時間でも結構ですので、ご参加していただける方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

多くの方の参加をお待ちしております。

記

開催要項

リレー・フォー・ライフ川越 2013

日 時：平成 25 年 9 月 14 日（土）13 時 00 分～ 15 日（日）13 時 00 分

会 場：川越水上公園芝生広場

場 所：埼玉県川越市大字池辺 880

内 容：がん患者さんや家族、その支援者と共に会場を交代で 24 時間歩きます。またチャリティ活動として、かき氷の販売や医療画像展を行います。

参 加 費：無料

寄 付：一人 500 円以上（個人負担）

申込期間：平成 25 年 7 月 16 日～平成 25 年 9 月 6 日

問い合わせ：埼玉社会保険病院 星野 弘 Mail：h-hoshino@sart.jp



リレー・フォー・ライフ川越：<http://www.rfl-saitama.com/> 無料駐車場：500 台